

ふくい女性つながりサポート事業【福井県】

個別事業費	8,602千円
交付金額	4,301千円

地域の実情と課題

【福井県の現状】
 女性の就業率 55.6%(全国2位)
 女性の正規雇用率 54.6%(全国6位)
 共働き率 61.2%(全国1位) R2国勢調査

【福井県の課題】
 コロナ禍を経て、家庭における女性の負担・不満が高まり、日々の生活において不安や不満を抱える女性が増加

目的・目標

【目的】
 悩みを抱え込んでいる女性や経済的に困窮する女性の孤独・孤立を防ぐ

【目標】
 ピアサポートサロンに参加して、前向きになったと回答した方の割合 70%
 ピアサポートサロンへの参加人数 520人

事業の特徴

- ・女性の悩みや不安を知る講座の開催
- ・ピアサポートサロンの実施
- ・ふくい女性活躍支援センター出張相談の実施
- ・生理用品の配布

連携団体

(公財)ふくい女性財団

事業の効果

ピアサポートサロンの参加者アンケートでは、「参加したあとの気持ちの変化」について、65%の人が「前向きな気持ちになった」と回答しており、女性の負担や悩みの解消に繋がっている。

【実績】
 ピアサポートサロンに参加して、前向きになったと回答した方の割合 65%
 ピアサポートサロンへの参加人数 457人

今後の課題

- ・誰にも相談できずにいる女性の不安や悩みに寄り添うことができるサロンのテーマを設定する
- ・参加する世代の固定化の傾向もみられることから、様々な世代の悩みを抱える女性の居場所を提供できるよう、支援を強化する

ふくい女性つながりサポート事業

○女性の悩みや不安を知る講座の開催

悩みを抱える当事者が日常的に関わる企業・教員・学生・一般県民等に対し、専門家や経験者による体験談を交えた講座を開催。また、希望者と講師との個別相談ができる場を設定。

(開催内容)

- ・見えにくい困難を抱えながら働く
- ・バウンダリー(境界線)をキーワードに対人関係の悩みに関する講座

(参加者)

計42名

○ピアサポートサロンの実施

- ・孤独を感じる女性が親しみを感じ、悩みを打ち明けやすくなるような空間をつくり、不安を抱えた女性の居場所として提供
- ・知見のある専門家等をファシリテーターとすることにより、相談者に寄り添った支援ができる体制を整備
- ・オンライン設備を整備し、他人と直接会わなくとも悩みを共有



ふくいウイメンズ・オアシス

○ふくい女性活躍支援センターによる出張相談の実施

- ・遠方の地域にサテライト窓口を設置するなど、アウトリーチ型の支援に拡充
- ・就職相談、職業紹介、キャリア相談、保育所・子育て相談等に幅広く対応

○生理用品の提供

- ・ピアサポートサロン開催場所である「ふくいウイメンズ・オアシス」にて提供
- ・窓口および施設内のトイレに設置するとともに、ホームページ等に掲載されている「配布カード」を提示した女性に対し、生理用品を紙袋に入れるなど中身がわからないよう配慮しながら、1人1セットを窓口の職員が対応して提供
- ・各相談窓口の案内を紙袋に同封し、身近な窓口で支援を受けられる情報や相談につながるよう努めた

【配布場所】・生活学習館2階 ふくいウイメンズ・オアシス(ピアサポートサロン開催場所)

- ・ふくい女性活躍支援センターの出張相談会場(嶺北1か所、嶺南2か所)
- ・県内子育て支援センター



生理用品配布カード